

広報としま特別号

令和5年
(2023年) 3/1
No.2009

としまplus

プラス



撮影：桜キッチンカフェ

／ やっぱり地元がサイコーだ！ ／

駒込・巣鴨テッテイ探訪。

SDGs 未来都市としま



TOSHIMA
International City
of Arts & Culture



豊島区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

FIELD REPORT

in Komagome & Sugamo

駒込・巣鴨テッテイ探訪。

駒込・巣鴨地域といえば「ソメイヨシノ発祥の地」。この地域に桜はどのように根づいているのかを、JIMO-TOSHIMAライターが調査します。 図文化観光課観光交流グループ ☎3981-1316

「桜」とことん集めました



JIMO-TOSHIMAライター
そらさん
都内の大学に通う大学生。
表現の勉強をしています。



おかの えいせん
▲岡笠栄泉のおまんじゅう「染井の里」。桜の塩漬は炊いたご飯に混ぜてもおいしい。
☉駒込 4-13-17 ☎3915-1336

春を味わう和菓子 ～桜を添えて～

ほんのりと桜の香りを楽しめる和菓子たちを発見！その可愛らしさが私の心を射止めてきました。日本文化を満喫するにはピッタリの和菓子。ぜひ皆さんと一緒にほっこりしましょう。

▶伊勢屋菓子店の「道明寺」はほんのりと桜の香り。春の訪れを感じさせます。
☉巣鴨3-21-17 ☎3917-3580



▲福島家「染井さくらあんみつ」
☉巣鴨2-1-1 ☎3918-3330

私のオススメ
NO.1!



24時間365日桜満喫中

まちを歩けばいつでも桜を楽しむことができます。橋の欄干からタイル絵まで、いたる所で春気分。そして「桜キッチンカフェ」には桜スイーツが勢ぞろい。見た目の華やかさと味は私が保証します！



▲桜キッチンカフェのスイーツ
☉駒込3-1-16 ☎6903-7856
▶菓子工房プランタンのチョコ「駒込桜」 ☉駒込3-24-3 ☎3915-3802



足元にも桜が！



▲染井銀座商店街の歩道は桜模様のタイル絵
☉駒込6-26
▶染井橋の欄干も桜模様
☉駒込3-4-1



DATA ソメイヨシノ発祥の地
「ソメイヨシノ」は、オオシマザクラとエドヒガンの雑種と考えられています。江戸時代後半に誕生し、明治時代以降、染井村(現在の駒込)の植木屋により全国へ広まったとされています。駒込には、染井よしの桜の里公園をはじめ、桜の名所が多くあります。



▲みのや昆布店のふりかけ(塩昆布とごまの風味)
☉巣鴨3-15-15 ☎5980-7159

桜色やグッズを探索!

桜色や桜にまつわるグッズを探すのは意外と難しいものです。しかし、必ずどこかに隠れているはず!見つけることができた瞬間は、うれしくて笑みがこぼれました。新たなまち歩き面白さを発見です♪



▲座・ガモール2号店京都館で販売している京工芸の雑貨類
☉巣鴨3-38-1 ☎5972-1822

わたしの「駒込愛」

桜をはじめ古き良き文化のイメージがある駒込地域ですが、最近はおしゃれなカフェができたり、地元の方が地ビールを作ったりと盛り上がっています。そんな面白い試みをしている方々に、お話を伺いました!



1. 桜にこだわった「駒込の憩いの店」 桜キッチンカフェオーナー 永山達也さん

駒込に住んで30年ですが、いつかこの地でお店をしたいと願っていて、ようやくオープンにこぎつけたのが6年前です。建物の場所がちょうど染井通りの起点に近く、駒込らしく桜を周年で楽しめるお店にしようと、床のタイルや店内の装飾、お店の外観などいろいろな工夫をしたんですよ。お店の前に植えているのがソメイヨシノです。まだまだ若木なのですが、年月を経て大きく育った時に、ソメイヨシノとお店の外壁に描いた桜の絵とひとつになって道行く人を楽しんでもらえたらと思っています。



▲お店の外壁には大きな桜の絵が
◀1階の床の桜模様はオーナー夫妻がタイルを切って手作りしたもの。

2. 「駒込の未来は自分たちの力でつくることができる」 こまごめビールプロジェクト実行委員会代表 関根健人さん

地域の有志メンバーではじまった地ビールづくりプロジェクトは、コロナ禍で暗くなった駒込に元気を取り戻したい!という思いのもとで始まりました。地ビール造りに至ったのは、駒込の特産品に何が良さか?アイデア出しをしていた時に一番盛り上がったから(笑)。商品として世に出すまでが約1年です。ビール造りは誰もが初めてでしたが、最初の熱量を大切に作り組んできました。

ビールを通してまちの良さを伝える
お店を出してお客さんと話をするうちに、駒込では色々な人が色々なことをやっているんだとわかってきました。地ビール造りにはさまざまな背景を持った仲間が、各々の得意分野で力を発揮しながら進めています。ご近所で気軽に集まって何かができる空気感が駒込の地域性なのかな。私たちの商品を置いてくれるお店は増えてきています。思いがたくさん詰まった地ビールを飲んで楽しんでもらうなかで駒込の良さを味わってほしいですね。



地ビールのこと、何でも聞いてください!



▲自身がオーナーを務める「CAFE PORT BROOKLYN」にて。
◀これまでに開発した地ビール。それぞれ異なるコンセプトでつくられている。

3. 「駒込は掘れば掘るほど魅力的」 こまごめ通信 (写真左から) 織田博子さん、くれまちこさん



駒込は北区・豊島区・文京区の3つの区で成り立っていますが、ひとつの文化圏としての「こまごめ」を発信したいと思い、「こまごめ通信」を作り始めました。1号目の発行時はものすごい反響があって、寄稿文が何か月分も溜まりました(笑)。本人にとって何でもない日常や会話でも文章にしてシェアすると、地元の人でも知らない情報だったり、興味を惹かれる内容だったりするんですね。私もこの活動を通して、お気に入りのお店や友人が増え、生活が豊かになりました。このまちは気軽にアットホームな人柄の方が多です。ふらっと歩いたら約束していなくても知り合いと鉢合わせて話ができるくらい。これからも皆さんと一緒に、まちの魅力を伝えていければと思います。



こまごめス



▲毎年4月に発売される「こまごめ通信本」

次は、区と民間がタッグを組んだ商品開発をご紹介します!



「はあとの木」でつくる商品開発プロジェクト、始動!

区は区内の障害福祉施設のネットワーク「はあとの木」と連携し、駒込・巣鴨の地域ブランドであるソメイヨシノをPRするための商品開発を進めています。その様子を「はあとの木」を代表してcaféふれあいの齊藤店長が語ってくれました。
 圏文化観光課観光交流グループ☎3981-1316、障害福祉課施設・就労支援グループ☎3981-1786



ミッション1 桜をモチーフとした商品として自分たちには何が作れるか

商品に「桜」の要素をどのように盛り込んでいくか?味はもちろん形や桜を思い浮かべるような色など、さまざまな切り口から検討を進めました。

「桜」を感じてもらうためには味だけでなく、香りや形など色々なバリエーションが考えられます。世の中で出回っている商品も参考にしながら、自分たちの力でどういったものを作ることができるのかを「はあとの木」のメンバーと考えながら検討を進めました。



▲イメージに近づくため、持ち寄られた試作品をもとに議論を重ねました。

開発と研究と根気と時間と努力と...多くのモノが必要になりそう!



そらさん

Topics1 はあとの木とは...



パンや焼き菓子、ハンドメイド雑貨などを製作・販売している豊島区内の障害福祉施設のネットワーク。ワクワクするようなグッズを取りそろえ、皆さんに喜んでいただくと同時に、障害のある方たちの収入につながることを目的としています。

ミッション2 実際に商品を作成してみよう課題をとことん洗い出す

試食を何度も繰り返し、意見を出し合うなかで思い描いた商品イメージとのすり合わせを行います。遠慮なく意見を言い合い、考えて、商品を形作っていく。ひとつの道をとことん追求する作業が続きます。

障害者が中心となって...と聞くと内容が限定されると思われがちですが、喜んでもらえる商品を作るなかで障害の有無なんて一切関係ありません。試作品を作る工程は試行錯誤の連続で多くの意見が出てきましたが、それは一人ひとりが真剣に向きあっているからこそ。意見を遠慮することなく徹底的にぶつけ合っ「これ!」と思うものに辿り着いたら、さらに磨き上げる。その作業を延々と繰り返すだけです。



▲施設では働く一人ひとりの障害に合わせて作業を割り当て、モノづくりなどを推し進めています。

目の前の仕事に真摯に向き合う姿、見習いたいです。



そらさん

ミッション3 より多くの人に楽しんでもらうために何が出来るか

開発した商品が世に出たところが、スタートラインです。多くの人に親しまれ、区を代表するお菓子となるための軌跡をどう描くかが重要です。

駒込・巣鴨から全国に広がったソメイヨシノのように、一人でも多くの人たちに届けたいと思っています。そのために今後は焼き菓子のほかにもレパートリーを増やすことができると考えています。そして、ゆくゆくは旅行のガイドブックに載るようになれば...より多くの人々の注目を集めることになるかなとも考えています。その足掛かりとしてまずはお土産の東京代表の座を獲ることを目指します!



開発した商品のお披露目をします!

桜の開花シーズンを中心として、さまざまな場所で開発した商品をお披露目します!日時や場所などの詳細はIKE-CIRCLEホームページで確認してください。



豊島区名物となった桜スイーツを期待して待っています!



そらさん

Topics2 「はあとの木」に参加している事業所

現在10か所の事業所が「はあとの木」に参加しています。各事業所の商品は区役所本庁舎4階caféふれあいの前で販売中。

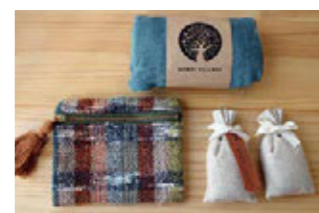
●販売日時: 平日 午前9時~午後5時 (ただし、毎月第2金曜日は午後3時まで)



共同作業所オーク



ふれあいファクトリー



SOMEI VILLAGE



麦の家



メジロック



いけぶくろ菫の里



みつばちブンブン



AozooLa



今回インタビューを通して新たなまちの一面を知りました。まちに対する熱い思いをもつ方々に取材ができてうれしかったです。私も負けないように、これからも豊島区の魅力発信をしていきます!

JIMO-TOSHIMAライター募集中!

日々の暮らしの中で感じたこと、体験してみたことなど、あなたのお気に入りの区の魅力を発信してくれるライターを募集しています!活動内容や申込み方法など詳細は2次元コードを参照してください。

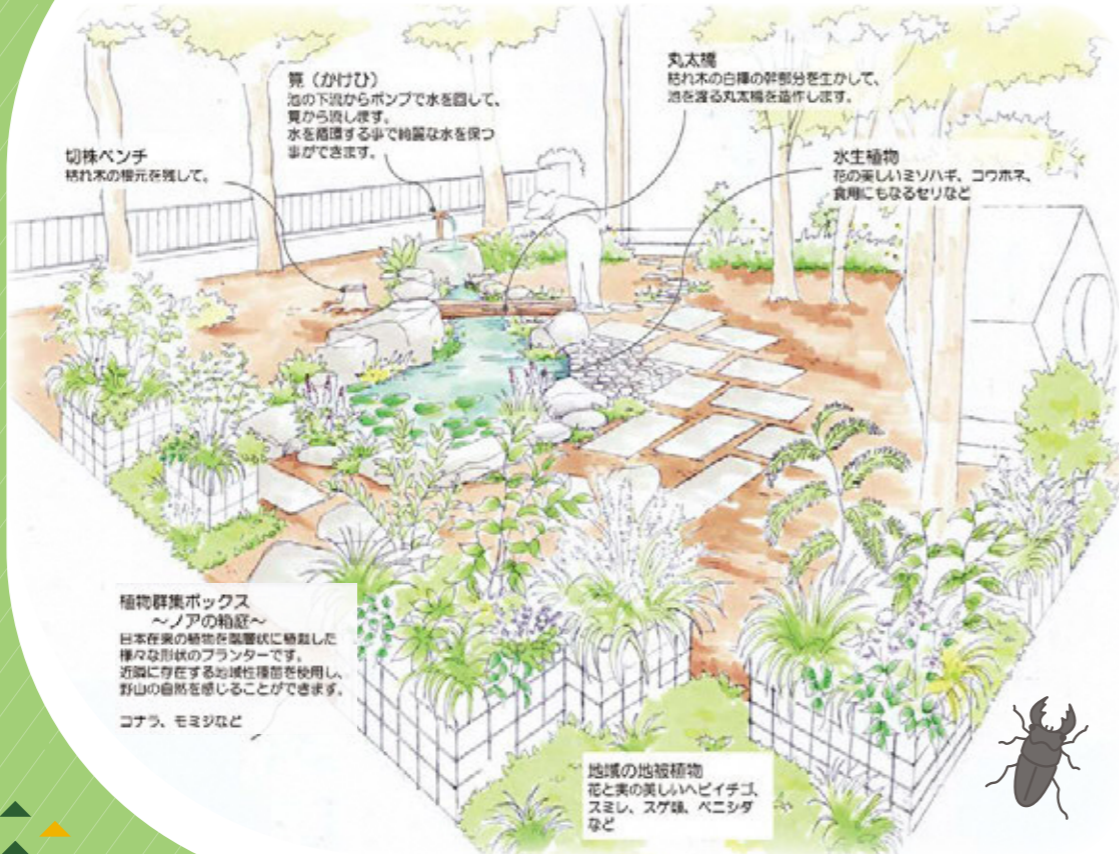


そらさん

広がるSDGsと地域の輪

千早小学校

千早ビオトーププロジェクト 85



千早小学校は創立85周年を記念して、池をビオトープに大改造。子どもたちのアイデアをふんだんに取り入れて、生き物がたくさん集まるビオトープを目指します。ビオトープとは…生物がいる場所全般を指す造語で、都市においては生態系を取り戻すために作られた生物の生息空間を指すことが増えている。

生きもの救出作戦！

工事が始まる前に、3・6年生が池に住む生き物を水槽に移しました。子どもたちは大興奮！どんな生き物がいたのでしょうか。

メダカだ！



ドジョウがいる！

地域とのつながり

ビオトープが完成すると、手入れが必要不可欠です。卒業や人事異動などで人の入れ替わりがある中、変わらないのは地域の人々の存在。千早小学校では、区民ひろば千早と連携してビオトープを管理していきます。

区民ひろば千早との取組みを紹介

毎年2年生は、小学校敷地内のさつまいも畑の整備を担当。苗植えやつる返しをした後は、区民ひろば千早で結成された畑部会の皆さんと一緒にさつまいも掘りをしました。



区民ひろば千早 畑部部长 矢尾博昭さん

以前から千早小学校と交流があり、コロナ禍前は一緒に給食を食べることもありました。さつまいも栽培では、苗から育てて収穫するまでの苦労や楽しさを体験し、食事ができることのありがたさを学んでもらえたのではないのでしょうか。取組みを続けていくためには、経験のある地域の人と学校とで助け合うことが大切ですね。

池袋第一小学校

森の中の学校を盛り上げよう！～笑顔の花プロジェクト～

全校児童が1人1鉢、花を育てる取組みで、小学校に関わる全ての人を花で笑顔にします。学校、地域、PTAが連携した「森の中の学校ネットワーククラブ」と一緒に活動しています。

My フラワー運動

毎週火・金曜日に学年を超えたグループが集まり、花の水やりや落ち葉拾いなどを行っています。

色々な植物を植えられて楽しかった



みんなが使う広場を気持ちよく過ごせるようにしよう！

もっとたくさんの植物を育てたら、「森の中の学校」に近づけるかも！

森の中の学校 ネットワーククラブ 山中正夫さん

地域の公園緑化の活動をしてきたことがきっかけで当クラブの活動を始めました。今は児童に苗の植え方や育て方を教えています。花を育てることが初めての子供たちは、目を輝かせて作業してくれますよ。自分の鉢を持つことで責任を持って育てようとしているんじゃないですかね。この活動によって、植物には日の光や水、肥料を与えないといけないことを学び、愛情深い心を育てています。



学校と、地域の人との架け橋へ

教育委員会では、環境教育活動と地域の協働活動を推進するためにSDGs環境教育アドバイザーを設置。以前から区内で「ヤゴ救出作戦」といった環境保全などの取組みを行っていた榎野さんがアドバイザーとなり、小・中学校での環境教育を支えています。



豊島区教育委員会SDGs環境教育アドバイザー 榎野光路さん(大正大学社会共生学部 非常勤講師)

「ヤゴ救出作戦」では、子どもたちだけでなく区内の大学生と一緒に、プールに産み付けられたトンボの卵をふ化させて成長まで見守る取組みを行いました。昔はプール清掃時にただ排水していた汚れた水にはたくさんの生態系が存在するので、教育につながれたらと考えました。体験の場が少ない子どもたちは、実際に目にしたものに強く興味を示してくれます。そしてそこで得た体験が「自分ごと化」させ、家庭での共有が地域で環境を考えるきっかけになる。こうした地域と学校のつながりが、まちを育て、結びつきが強くなればよい連鎖が生まれると思っています。環境SDGsはまだまだ地域に浸透していないので、子どもたちと、そして地域と一緒にこれからも取り組んでいきたいです。

ヤゴ救出作戦！

プールの水に溜まった落ち葉や泥にふ化してすみついたヤゴ(トンボの幼虫)が、清掃時に排水溝に流れないように救出。区立小学校のうち18校(昨年度実績)が取り組む。



想い、継ぐ

先人からの想いを受け継ぎ、生み出される匠の技、伝統工芸—。時を越え100年以上つなげられてきた技術とその想いを取材しました。皆さんもこの伝統を感じてみませんか。
 圃生活産業課商工グループ ☎4566-2742

江戸提灯

提灯の読みは中国の宋時代の発音によることから、日本には平安時代に渡来したことが想定される。江戸時代に入り、和ろうそくの生産が奨励されたことにより、日常の照明器具として広く普及した。「江戸提灯」の最大の特徴は、火袋に描かれる意匠が全て「手描き」であるということだ。表面がでこぼことした丸い形状の提灯に、様々な文字、家紋、デザインを自在に描く技こそ、江戸提灯の最大の魅力である。

はや川提灯店 早川福男さん

私は昔から手先は器用な方で、5年くらい修業するつもりが、3年と通常よりも早く独立できました。ただ、独立しても一人ひとり字が違うのと同じように、先代の江戸文字をうまく継承できず、お客さんが思うようなものが提供できないときは苦労しましたね。やっぱりお客さんの喜んでくれる顔が一番ですから。それに私は伝統を継承するだけでなく、自分の個性を活かして新しいことにも挑戦していきました。



▲三代目店主の早川福男さんは伝統技術を守りながら、個性を活かした現代風な作品にも取り組んでいる。

動物の描写が得意だったことから、動物柄の提灯もその一つです。手作業は貴重な技術。昔から使われていたものが、使い方や見た目が変わっても伝統として今に残っていることを誇りに思います。これからも、より多くの人に伝統工芸を伝え、関心を持ってもらいたいです。

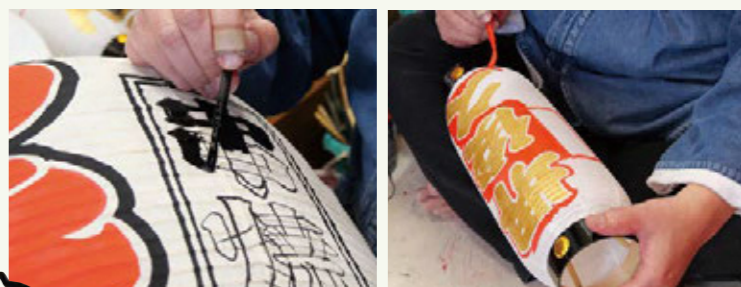


▲もうろうたい 臙臙体をイメージしたヒョウ柄

▲ブロック・ヒゲ・江戸文字の使い分け表現



▲斬新なデザインや鮮やかな色使いの作品は店舗看板やインテリアとして普段使いでき、江戸提灯の新しい風を感じる。



▲下書きはせず慎重に描いていく。文字は輪郭から描いて塗りつぶす。



▲「自分だからこそできる提灯、自分の色を出していきたい」という想いがある。早川さんは、独自に考案した「ブロック文字」で都知事賞を受賞している。ブロック文字で描いた「戌」。デザインも一から考えるという。



東京三味線



▲「音域、音質、音量は皮の張り方と皮質で変化します」そう語るのは、三代目店主の高橋定裕さんだ。



▲「トチという模様のある三味線は棹が振動しやすいからとても貴重。振動し楽器全体から音が出てよく鳴りますよ」と。木材によっても音の違いが出るという。



▲のこぎり、ちょうな、かんな、のみ、やすりなどを使って棹を作る。最後は砥石で磨き上げる。



▲皮を胴に貼りつけるときの糊は、白玉粉を練って使う。

柏屋楽器店 高橋定裕さん

最初は中学生の頃にお小遣い稼ぎで始めたのがきっかけでした。高校1年生の夏休みに通常は2〜3日で仕上げられるお稽古用の棹を20日かけて仕上げたんです。それでも一人でできたことが自信につながって、この道に進もうかと思えましたね。東京三味線を作り上げるのは、家を建てるのと似ていて、一つひとつの

工程がとても大切なんです。手を抜かず作り続けないと、最後にきれいに仕上げようとしても、粗が目立ち、納得のいくものができません。妥協せず、根気強く正確に作り続けていく必要があるんですよね。ただ、細かな作業があるからこそ、奏者に合わせた、すべてのオーダーのこだわった作品を作ることができるのも魅力です。一人でも多くの人に東京三味線に興味をもってもらえたらうれしいですね。

三味線は14世紀末に中国から琉球に伝わってきた三絃がもとになった楽器だ。「天神(最上部)」「棹(中)」「胴」を分業で作ることが多いが、豊島区や文京区、台東区などで作られる「東京三味線」は「胴」以外の全てを1人の職人が制作するのが特徴だ。棹づくりだけでも100以上の工程があり、熟練の技が試される。



▲お正月用に松竹梅と絃の色を3色使用した作品



▲奏者が何を求めるか次第で皮の張り具合も変わる、奏者に合った音色を構築したいという想いがある。破れる寸前の限界まで皮を強く引っ張った状態で張るときは特に神経を使う。

特集

知っていますか？ ヤングケアラーのこと

まわりにこんなこと
ありませんか？



病気や障害のある家族の代わりに、買い物・料理・掃除・洗たくなど家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

本来、おとなが担うような家事や家族の世話などを日常的に行っている、18歳未満の子どもを「ヤングケアラー」といいます。かつて、三世帯や大家族で生活している家庭が多かったころは、家族のケア役割が複数のおとなたちで分担できていました。しかし少子高齢化や核家族化が進み、子どもがケア役割を担うようになっていきます。
子ども家庭支援センター子どもの権利第2グループ
☎6858-2302

参考：(一社)日本ケアラー連盟ホームページ

教えて、ヤングケアラーのこと！

立教大学コミュニティ福祉学部助教 田中悠美子先生に伺いました

Q. 「ヤングケアラー」と子どもの「お手伝い」の違いは？

A. 本来、お手伝いは親などの主体となる方がいますよね。おとなの代わりにケア責任をもっている状態が「お手伝い」との違いですね。誰か代わりに人がいて本人が「できない」と言える選択肢があるか、がポイントです。心や体に不調を抱える家族がいるという環境も違います。ケアは内容・時間・頻度などから多種多様にわたります。

Q. ヤングケアラーは何が問題なのでしょう？
どのような影響がありますか？

A. 家族のために家事や介護を担っていることは、それ自体が悪いことではありません。学校への遅刻・欠席が多くなることや成績不振、友だち付き合いで孤立したり、睡眠不足、重労働によるけがで体をこわすなど、さまざまな影響があります。一方で、当事者のポジティブな面にも注目してほしいですね。小学生でもATMが使えるなど生活スキルやケアの実践的な経験値が高いんです。責任感が強く、家族との絆が強い子が多い。そういう面も就職や受験の時などで評価されるといいですね。

Q. 私たちができることは何でしょうか？
どのような心がけが必要？

A. 本人にとって信頼できるおとながいることがとても大切です。すぐに何とかしてあげたい！と思いがちですが、何よりも「話を聴く」ことです。日頃から「最近、どんなマンガ読んでるの？」「最近、何が好き？」などその子に焦点をあてた声かけをしていくことだと思います。また「あの子はいつも遅刻や居眠りが多いけど、何か理由があるかも？」という視点を持っていただけたらと思います。支援へとつなげようと焦らずに、本人の意思はもちろん、家族全員の状況を理解することが大前提なんです。

Q. 子どもたちへメッセージをお願いします！

A. 家族と同じくらい、自分の心や体や時間を大切にしたいんだよ。ケアをする／しないは自分が選んでいいし、いつでも助けを求めている。自分が人生の主役という軸を持ってくれたらうれしいです。



profile ● 社会福祉士、介護福祉士、社会福祉学博士。認知症専門デイサービスで介護職として勤務。若年性認知症の親と向き合う子ども世代のついで「まりねっこ」の立ち上げ・運営や、相談支援を行う。(一社)日本ケアラー連盟理事、ヤングケアラープロジェクトのメンバーとしてヤングケアラー・ケアラー支援に取り組む。

今後の取組みに向けて動き始めています！

8～9月にヤングケアラー実態調査を実施しました

区立小学校4年生～区内在住18歳までの子どもを対象に調査を行い、3,529名から回答がありました。

詳細はこちら



	小学4～6年生	中学生	高校生世代
● お世話している家族(相手方)がいると答えた子ども	21.4%(4人に1人) 相手方は「お母さん」が最多	4.7%(21人に1人) 相手方は「きょうだい」が最多	2.8%(35人に1人) 相手方は全て「きょうだい」
● 自分はヤングケアラーに「当てはまる」と答えた子ども	2.2%	1.5%	2.3%

● お世話の頻度や時間
 頻度 …小・中学生で「ほぼ毎日している」が約29～32%、高校生は62.5%。
 時間 …小・中学生は「3時間未満」が最多。中には7時間を超える場合も。

● 学校や周りのおとなにしてもらいたいこと
 小学生の20.2%、中学生24.4%、高校生世代は68.8%が「ある」と回答しました。

● してもらいたい内容
 小学生「自由な時間がほしい(7.6%)」、中学生「自由な時間がほしい、学習のサポート(7.3%)」、高校生「経済的な支援(37.5%)」が最多の回答でした。

元ヤングケアラー(現若者ケアラー)で長年家族を介護している 友田 智佳恵さん

きっかけ

12歳の時に、母が突然倒れたことで介護が始まりました。最初は状況を受け入れられず、生活を立て直すのに必死でした。「家族のことは家族で」という価値観が無意識にあって、周りに頼ることはほとんどありませんでした。私自身、母のことを相談したり、話したりしにくかったです。「私がしっかりしないと」と思い、自然に着替えや食事、おむつ交換などできることをやってきました。母には高次脳機能障害があって気持ちをなだめたり感情面のケアも必要です。朝デイサービスへ母を送り出し、急いで登校、下校後は母を出迎えて見守る1日でした。

当時にふりかえって

「一人の人間としてあなたは今後どうしたいの？」という問いかけをしてくれる存在に出会えていたらよかったです。娘として「私と切り離して」。

当事者に伝えたいこと

5年前に育児や祖母の介護も重なり、自分だけでは全てを抱えきれず、心身に不調が出ました。そこで、自分がどこまで介護を担うのか、そもそも担いたいのか、介護と向き合って整理し、自分のやりたいことも真剣に考えようと思ったんです。酷だけれど、介護のある人生を真剣に受け止めて、将来を考えることが大事だと思います。自分の経験を強みにする気持ちで。子どもたちって可能性しかなくて、何にだってなりたいものになれるんですよ。



お話を聞かせてください

▶ 子ども家庭支援センター子どもの権利グループ ☎6858-2302 平日 午前8時30分～午後5時15分

▶ 子どもフリーダイヤル ☎0120-618-471 平日 午前9時～午後6時 土曜日(祝日を除く) 午前9時～午後5時
 E: A0019800@city.toshima.lg.jp (東部子ども家庭支援センター)

▶ 豊島区児童相談所 ☎6758-7910

▶ 24時間子どもSOSダイヤル ☎0120-0-78310

友だち募集中!

東京都ヤングケアラー相談支援等補助事業
 公式LINEアカウントけあバナ
 (運営…(一社)ケアラーワークス)



区内全域を価値あるまちへ

現在、区制施行90周年まちづくり記念事業を区内全域で進めています。機能や利便性の向上だけでなく、まちの価値や魅力を創り上げ、地域のシンボルとなるように取り組んでいます。

☎企画課施設計画グループ ☎3981-4594



「**学び舎びいす**」とは、西部地域周辺の学校が改築する際に使用する仮校舎のことで、千川中学校や近隣小学校の児童・生徒から公募した施設の愛称です。

学び舎びいす (西部区民事務所等複合施設)

令和6年4月開設予定 ※西部区民事務所は令和5年10月

子どもの未来を守り、育む

学校の改築を進めるための「学び舎びいす」や、児童数の増加に対応するための高南小学校別棟の整備など、更なる教育環境の充実にに向けて取り組んでいます。また、2月には長崎健康相談所との複合施設として児童相談所がオープン。子どもと健康を守る専門機関が一体となった、新たな子育ての拠点となります。



令和5年2月開設



令和5年10月開設予定

世代を超えて楽しむ

多目的な競技に対応する野外スポーツ施設が、学校跡地を活用して西部地域にオープンします。世代を超えた交流が楽しめる区民ひろばは、バリアフリー化してリニューアルオープン。



旧第十中学校野外スポーツ施設



野外スポーツ施設全体

令和6年10月開設予定

区民ひろば要 (西部生活福祉課複合施設)



令和5年4月開設予定



令和5年2月開設

安全快適なまちづくり

電柱は景観を損ねるだけでなく、通行の妨げや災害時に道路をふさぐ恐れがあります。そこで、平成26年に区は「電柱ゼロ都市」を宣言。巣鴨地蔵通りをモデル路線として、無電柱化を進めています。通学時に混雑する立教通りも、道路整備に合わせて進めています。



立教通り

Ⅰ工区…令和7年度完了予定
全工区…令和12年度完了予定




巣鴨地蔵通り

Ⅰ工区…令和5年度完了予定
全工区…令和17年度完了予定

混雑緩和と余裕を持った手続きにご協力をお願いします

来庁しなくてもできる手続き



<p>郵送による届出・請求</p>	<p>転出届、新築届、住民票の写し、戸籍に関する証明書、税証明書(課税・納税証明書)</p>
<p>オンラインによる届出・請求 マイナンバーカード(有効な署名用電子証明書(英数字6～16桁)が登録されたもの)とマイナンバーカードに対応したスマートフォンをお持ちの方</p>	<p>転出届、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄本(全部事項証明書)・戸籍抄本(個人事項証明書)、除籍・改製原戸籍謄抄本、戸籍の附票の写し、身分証明書、独身証明書、税証明書(課税・納税証明書)</p>  <p>転出届 各種証明書</p>
<p>コンビニ交付 マイナンバーカード(有効な利用者証明用電子証明書(数字4桁)が登録されたもの)をお持ちの方</p>	<p>住民票の写し(マイナンバーの記載のないもの)、印鑑登録証明書、税証明書(課税・納税証明書) ※内容によっては、発行できない証明書があります。 ※障害対応などによるメンテナンス時に一時休止または臨時的休止日を設定場合があります。休止情報はあらかじめ区ホームページなどでお知らせします。</p>

待ち時間を確認してからお越しください

区ホームページから総合窓口課の窓口の待ち時間をリアルタイムで確認できます。



受付時間などについて

各手続きの必要書類や受付時間は、区ホームページを確認してください。



手続き完了をお知らせするサービスをご活用ください

受付後、手続き完了まで長時間お待ちいただくことが予想され、待合所が大変混み合います。総合窓口課では手続き完了時に、登録したメールアドレスにお知らせします(登録方法などの詳細は来庁時にご案内します)。

※必要書類などの詳細は区ホームページ参照が問い合わせしてください。



東京メトロ有楽町線
千川駅下車3番出口徒歩6分

●混雑予想カレンダー(東・西区民事務所は平日のみ)

3月	日	月	火	水	木	金	土	4月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4								1
	5	6	7	8	9	10	11		2	3	4	5	6	7	8
	12	13	14	15	16	17	18		9	10	11	12	13	14	15
	19	20	21	22	23	24	25		16	17	18	19	20	21	22
	26	27	28	29	30	31									

※マイナンバーカードの予約なしの受け取りは、繁忙時期を避けるなどのご協力をお願いします。
(受取不可日…3月18・19日、4月15・16日)

混雑状況	混雑している
非常に混雑している	比較的混雑していない
かなり混雑している	閉庁日



JR大塚駅北口・都電荒川線
大塚駅前停留場下車徒歩5分



JR池袋駅東口下車徒歩9分、
東京メトロ有楽町線東池袋駅下車
1番出口方面(地下通路で直結)

[イベントなどの開催について] 新型コロナウイルス感染症の状況により、開催中止・延期または内容変更となる場合があります。詳細は各イベントの問い合わせ先に確認してください。

広がれ!みどりの波! としまグリーンウェイブ2023

3月1日(水)～6月15日(木)

区は平成21年度から「グリーンとしま」再生プロジェクトとして、これまで13万9千本を超える植樹を行い、「いのちの森」「学校の森」づくりを行ってきました。区内にみどりの波を広げる活動が「としまグリーンウェイブ2023」です。期間中、植樹や木の手入れ、樹木とふれあうイベントなどを実施します。

☎環境政策課事業グループ ☎3981-2771

活動グループ募集!

家族、学校、勤め先などでグループを作り登録してください(個人も可)。
●登録方法 「としまグリーンウェイブ2023」参加登録書・実施計画書(環境政策課で配布。区ホームページでダウンロード可)を4月7日(必着)までに郵送かファクスかEメール(代表者氏名、住所、電話番号を記入)で、「当グループ」FAX 3980-5134、Eメール A0029180@city.toshima.lg.jpへ。右記2次元コードから申込み可。
●プレゼント 登録グループに1グループ5本まで「いのちの森」苗木を差し上げます。詳細は参加登録書を参照してください。
●自宅の庭や園庭、マンション共有部分の植え込みに木を植えましょう。



イベントに参加しませんか?

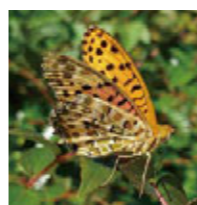
樹木やみどりに関わる講座やイベントを実施します。詳細は区ホームページなどでお知らせします。

- 予定事業
- 5月7日(日) 苗木配布(としまグリーンウェブ登録者)
- 5月21日(日) 池袋本町電車の見える公園「いのちの森」育樹活動
- 5月28日(日) 区役所本庁舎屋上庭園「豊島の森」環境講座
- 6月4日(日) つる植物・「いのちの森」苗木配布(事前申込み制)

としまの生きものを見つけました! としま生きものさがし2022 (区民参加型生態調査)

豊島区の身近な生きものをさがす「としま生きものさがし」。毎年多くの発見情報が寄せられ、小さな自然環境でも、多様な生きものの生息地になっていることに気づききっかけとなっています。発見情報の一部を紹介します。☎環境政策課環境計画グループ ☎3981-1597

●ツマグロヒョウモン



もともと暖かい地域のチョウですが、地球温暖化やガーデンブームの影響で、分布域が北上しています。

●トノサマバッタ



脚と翅を使ったジャンプが得意。イネやスキの葉がある、開けた場所にすみす。

としま生きものさがし 調査結果

- 生きもの情報件数 1,059件(うち区外11件)
- 参加のべ人数 495人

- 1位 ナミアゲハ(117件)
- 2位 モンシロチョウ(64件)
- 3位 ミンミンゼミ(55件)

※ニュースレターや区ホームページで確認もできます。令和5年度の参加方法については、6月頃に区ホームページなどでお知らせします。

東京アニメアワードフェスティバル2023

3月10日(金)～13日(月)

池袋開催が今年で7回目となる国際アニメーション映画祭。「東京がアニメーションのハブになる」を合言葉に、高いクオリティとオリジナリティに富む世界中の作品を上映。3つの部門を中心に、子ども向けワークショップやシンポジウム、招待作品の上映などを池袋の複数会場で開催。☎当フェスティバル実行委員会事務局 ☎info@animefestival.jp

★コンペティション部門

国内外からの900点を超える応募作品の中から各賞ノミネート作品を上映します。

★アニメ功労部門

アニメーション産業・文化の発展に大きく寄与した方を顕彰します。関連する上映プログラムや顕彰者の思い出の品を展示します。

★アニメ オブ ザ イヤー部門

国内で1年間に上映・放送された全作品を対象に、アニメファン、プロフェッショナルの方々の投票で各賞を決定します。

※上映作品や会場などの詳細は、公式ホームページを参照してください。



©TAAFEC. All Rights Reserved. イラスト:きはらようすけ

令和5年4月から

プラスチック資源回収のモデル事業を実施します

～区内の一部地域でプラスチックの出し方が変わります～

モデル事業実施地域

池袋本町2丁目	要町3丁目
駒込1・2丁目	千川2丁目
西巢鴨3・4丁目	東池袋5丁目
南長崎6丁目	目白4丁目

区はSDGs未来都市として、プラスチック資源回収の準備を進めています。

4月からは、区内一部の地域を対象にしたモデル事業を開始します。

なお、区内全域での本格実施は令和5年10月からを予定しています。

ごみ減量推進課プラスチック分別収集準備グループ ☎4566-2623

「燃やすごみ」の日に出していた「プラスチック類」

●プラスチック製容器包装



●製品プラスチック



「びん・かん・ペットボトル類」

の日に出していた
「プラスチック製ボトル容器・食品用トレー」



※ペットボトルの本体は、これまでどおり「びん・かん・ペットボトル類」の日に出してください。

「資源(プラスチック)」として
「段ボール・紙・布類」と
同じ日に出してください



中身や汚れが取り除けないものは「燃やすごみ」へ

モデル事業の 実施地域の方に

- 3月中旬にプラスチック分別ルールパンフレットなどを配布します。プラスチック資源回収の情報は区ホームページに掲載しています。
- 区民説明会を追加開催します…3月上～中旬に開催します。日程や会場は区ホームページを参照してください。なお、説明会の内容は11～12月に開催したものと同様です。



豊島区より ご希望の方に「広報としま」と「としま区議会だより」をお届けします

区内にお住まいの、新聞を購読していない世帯(企業などは除く)でご希望の方へ無料でお届けしています。どうぞご利用ください。

■「広報としま」発行日

特集版/毎月1回1日発行、情報版/毎月3回1・11・21日発行

「としま区議会だより」随時発行

■配送方法…発行日翌日までにポストへ投かん。

■注意事項…申込みから2～3週間後に配送を開始します。

☎電話かファクスかEメール(氏名<ふりがな>・住所・電話番号を記入)で、「広報グループ ☎4566-2532、FAX)3981-1375、EM)A0010509@city.toshima.lg.jp」へ。

広報としまについて、意見や感想がありましたらファクスかEメールでお寄せください。

この号は区内の全世帯に個別にお配りしています

「広報としま」はデジタルブックでも配信中です!

▶HP <http://toshima.rlibrary.jp/>

インターネット上で本をめくる感覚で閲覧できます。



豊島区公式情報を「SmartNews(スマートニュース)」で配信しています!

「豊島区チャンネル」で、区の公式情報を配信しています。



区公式 Twitter で最新情報を発信中

区内の防災・気象、イベントなどに関する最新情報をお届けします。



区公式 LINE をご利用ください

最新情報に簡単にアクセスでき、重要なお知らせを配信しています。



「声の広報(デージー CD・カセットテープ)」

「点字広報」をお届けします

希望される方は、広報課広報グループにお問い合わせください。

広報としま特別号
としまplus No.2009

令和5年(2023年)3月1日発行 発行:豊島区 編集:政策経営部広報課

〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1 ☎3981-1111(代表) HP <https://www.city.toshima.lg.jp/>